野球部の活躍

本校では部活動にも力を入れており、その中でも特に盛んである野球部を取り上げる。今回の紹介を通して高経附への興味をさらに持っていただきたい。

本校野球部は近年著しい成長を遂げている。そこで今回は過去3年間の野球部の活躍を紹介していく。

平成26年度、7月の第96回全国高等学校野球選手権群馬大会では、甲子園出場までは届かなかったものの見事ベスト4入りという快挙を果たした。

続く27年度、7月の第97回大会では順調に勝ち進み、ベスト16入りの好成績を残した。

そして今年度7月、第98回大会では一昨年、昨年と続く快進撃の勢いに乗り、本校はシード校として優勝を目標に出場した。1回戦の対伊勢崎興陽高校戦では10対3と圧倒的な力を見せ、2回戦へと駒を進めたものの、続く高崎工業高校との戦いは惜しくも敗北を喫し昨年度の順位までは届かなかった。しかし、最後まで予断を許さない白熱した攻防で、会場は大いに盛り上がっていた。

本校野球部の試合は毎回選手と応援団が一体となった盛り上がりを見せてくれる。本校に入学した際はぜひ野球部の応援に参加していただきたい。

▲今年もたくさんのヒットが生まれた

アルプスリポ

高校生アルプスリポーターとは、各校の放送部が高校野球の応援席の様子を群馬テレビやFMぐんまの視聴者にリアルタイムで伝える活動だ。

7月16日に高崎城南球場で行われた高経附と高崎工業の試合では、本校放送部から6人が参加し、リポーターを務めた。今回初参加の本間つぐみさん(1年)は「最初はとても不安でしたが、色々な人のサポートのおかげで楽しくできました」と語っていた。

皆さんがこのアルプスリポの活動や放送部に興味があったら、ぜひ本校放送部を訪ねてみてはいかがだろうか。なお、放送部はこのほかにも高校総体開会式などにも出場している。

(加藤)

▲応援席から熱いエールを送る

学校行事

今回は中学生の皆さんに、今年度上半期に行われた学校行事をいくつか紹介する。6月8日に体育祭、7月8日に文化部発表会が行われた。体育祭・文化祭は、隔年で交互に行われ、文化部発表会は文化祭がない年に行われる。体育祭、文化部発表会ともに今年は例年に負けないほどの盛り上がりを見せた。

文化部発表会

軽音部

トレーニングルームで行われた軽音楽部の発表は、最初から最後までライブ会場さながらの盛り上がりを見せていた。発表したのは1年生1バンド、2年生3バンド、3年生7バンドを含む計11バンドで、2時間にわたり会場を熱気に包んだ。今回演奏した曲はアニメソングからロック調の曲など幅広いジャンルで、観客を終始飽きさせなかった。

(小杉)

▲アーティストさながらのリサイタル

ダンス部

毎回多くの観客を動員するダンス部では、部員がそれぞれ31のグループに分れてパフォーマンスを行った。120分に及ぶパフォーマンスの中で、観客が部員の名前を叫ぶなど熱狂的な盛り上がりを見せていた。3年生による最後のパフォーマンスを前に、部長の上岡礼佳さん(3年)が涙ながらにこれまでの感謝を綴った手紙を読み上げた。その後のフィナーレでは3年生全員が花を持って踊り、それを顧問の川田先生に手渡す演出があり、会場は感動に包まれていた。(小杉)

書道部

書道部は体育館で書道パフォーマンスを行った。最初に1年女子が、季節感あふれる楽曲『夏祭り』が流れる中、青やピンクなどの色鮮やかな墨で「百花繚乱」の文字と、咲き乱れる大輪の打ち上げ花火を、流れるように書き上げた。次に学年共同作品では、三味線奏者吉田兄弟の『RISING』に乗せて、群馬の象徴でもある雷をモチーフにしたパフォーマンスを披露した。部員が雷神を彷彿とさせる力強いダンスを踊る傍らで、「雷と空風義理人情」などの文字が書き上げられた。さらに、芸術コース所属の部員は朱墨を使って迫力ある雷神を描きあげた。各パフォーマンスの合間には2人の男子部員がトークショーを行い、2人の息の合った掛け合いに会場は笑いに包まれていた。(小杉)

▲雷神が体育館を舞う

体育祭

6月8日(水)に本校校庭にて第2回体育祭が開催され、8つの団が競い合った。団は各学年1クラスずつがランダムに組み合わされるもので、優勝に向けて学年を超えた団結力が試される。団対抗の種目は応援合戦・玉入れ・長縄・2人3脚・綱引き・障害物リレー・40人リレー・選抜リレー・団旗の9種目で、他に余興的な競技として部対抗リレーと先生方による職員リレーがある。

中でも特に盛り上がるのが、各団のダンスやエールなどのパフォーマンスを競う応援合戦だ。今回応援合戦の1位に輝いた黒団は、『ぐでたまのテーマソング』など全3曲を全身タイツや被り物を身につけた代表生徒を中心に発表した。その他にも女装男子が多数登場した緑団、学ランにリーゼントでエールを送った黄団、漫画『ワンピース』のコスプレを披露した橙団などが会場を大いに盛り上げた。

障害物リレーと40人リレーも花形種目だ。障害物リレーは網潜り・キャタピラ・麻袋・ボール運びの4つの障害突破の早さを競う。キャタピラではコースを外れたり、麻袋で思わずバランスを崩したりと、順位を予測できない展開で大いに盛り上がった。40人リレーは各団から男女各20人が出場し、途中順位が次々と入れ替わる中、橙団が周回差をつけて優勝した。その他にも部対抗リレーで山岳部が20kgの荷物を背負いながら走ったり、教職員リレーに教育実習生が参加したりと、見所満載の体育祭となった。

本校の体育祭は学年間やクラスの団結力が高まり、大変充実した1日を過ごすことができる。ぜひ本校で青春のひとときを味わって頂きたい。

(石井)

▲ぐでっと踊る3年生

経附主義 TKF ism

中学生の皆さんの中には、この夏休みから本格的に受験勉強を始めている人も多いだろう。中には勉強のしすぎで「脳みそが限界だ！」という人もいるかもしれない▼そこで今回は「脳」に関するちょっとしたアドバイスをお送りする▼皆さんは、脳には「右脳」「左脳」があることをご存じだろうか。左脳は主に言語活動や分析などの論理的な面を、右脳はひらめきや芸術などの感性的な面を司っている。この2つを交互に使うことで、脳は効率良くその力を発揮できるそうだ▼例えばたくさん勉強して左脳が疲れてきたら、音楽を聴いたり絵を見たりして右脳を使う。そうすることで左脳の疲れを回復することができる▼また、夜通し勉強する徹夜はおすすめできない。人間の脳は睡眠不足に最も弱い。眠らないと脳が損傷し、記憶力・集中力が低下してしまう。しかも脳は寝ている間に記憶を整理し、定着させる。しっかり睡眠を取らないと、せっかく昼間頑張って勉強した内容も定着しないのだ▼右脳左脳をうまく使い分けつつ、しっかり睡眠を取って脳に記憶させることが大切である。自分の脳と上手く付き合い、この受験の夏を制してほしい。Let's try~

(小杉)